

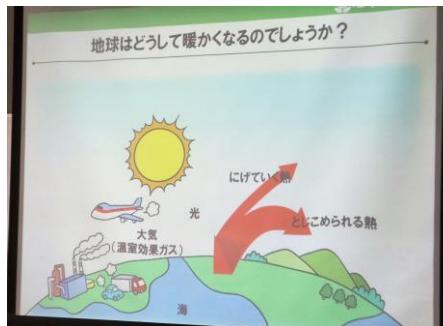
エネルギー教育モデル校としての取組

西京高等学校附属中学校では、経済産業省資源エネルギー庁からの委託を受けた、公益財団法人日本科学技術振興財団より、平成28年度から「エネルギー教育モデル校」に認定を受けています。教科（理科、社会、技術・家庭等）や課外活動等を通じて、エネルギーについて幅広く学び、生徒一人ひとりがエネルギー問題を自らの課題として理解し、現在の生活だけでなく、これから的生活のために、エネルギーに対する適切な判断と行動をするための基礎を構築することを目的としています。

これからは、この「西京 energy」通信を通して、みなさんがエネルギー・環境問題について考えていきましょう。

関西電力株式会社による出前授業

7月7日（金）に1・2年生は、エネルギーや環境問題について、「暮らしの中の電気」というタイトルで関西電力株式会社の方による授業を受けました。授業では、発電所から家庭にどのようにして電気が送られてくるかの説明を受け、地球温暖化問題や資源の有限性から省エネルギーの必要性を理解しました。そして、家庭用機器（電球・扇風機・ドライヤー）の消費電力の比較実験や実践例から、エネルギー資源を大切に使うために、みなさんができること（省エネルギールールを考えたり、ルールを作るなど）を全体で共有することができました。



地球温暖化問題



消費電力の比較実験



省エネルギーの発表

地球上の資源は無限ではありません。エネルギーを大量に使えば、石油などの化石燃料はいつかはなくなってしまい地球の環境も破壊されてしまいます。

生活をしていくためにはエネルギーが必要。今を生きるわたしたちのためになく、将来の環境のためにエネルギー消費について考えることが大切です。

わたしたちの暮らしは、環境に何らかの負担をかけることによって成り立っています。しかし、負担の大きさは、工夫次第で小さくすることができます。

* 1年生の各クラスで考えた省エネルギールール *

冷蔵庫は5秒で閉める

1年 A組 1班

冷蔵庫は何を取り出すのか決めてから開ける

1年 A組 2班

早く細めに

1年 A組 3班

なるべく1つの部屋に集まる

1年 A組 4班

夏に30°Cをこえてからエアコンをつける

1年 A組 5班

バッテリーが100%になったら充電器のプラグをぬく

1年 A組 6班

冷蔵庫は5秒以内に開け閉めする

1年 A組 7班

できるだけみんな同じ部屋にいる

1年 A組 8班

家族が1つの部屋に集まる

1年 B組 1班

しっかり目的を考えてから冷蔵庫を開ける

1年 B組 2班

エアコンを自動運転で設定する

1年 B組 4班

冷蔵庫を開けている時間を3秒にする

1年 B組 5班

外出の時には電化製品の電源をOFFになっているか確認する

1年 B組 6班

冷蔵庫を開ける回数を減らすために1回でたくさんのものを取る

1年 B組 7班

扇風機を使ってエアコンの設定温度を高くしても涼しくなるようにする

1年 B組 8班

物を使う時は省エネできるかを考えるようにする

1年 C組 1班

特にすることがないときは1つの部屋に集まる

1年 C組 2班

1つの部屋になるべく集まる

1年 C組 4班

日中は電気を消す

1年 C組 5班

冷暖房の設定温度・時間

を守る④28°C⑤20°C

1年 C組 3班

弱中強などの選択肢がある場合はできるだけ強を使わない

1年 C組 7班

エアコンは32°Cになるまで使わない

1年 C組 8班

使っていないものは電源を切りコンセントをぬく

1年 C組 6班

一人ひとり、意識して行動することが大切です。

